

昭和20年		年月日		略歴		摘要	
7	7	9	9	8	8	8	8
31	8	16	15	7	21	19	10
				軍令陸甲オ一〇六号により編成下令 奉天省本溪湖において編成完結 オ二九師団が「サイパン」転用の残置員を基幹として在満召集者を以つて編成す。 奉天東陵に移駐。 奉天市内に移動。 奉天（大山会館）において武装解除。 文官屯經由古城子に移動。 東北大学に集結。 主力は奉天作業オ三四大隊編入。 奉天発黒河經由「入ソ」		師団長 中將 中山 淳	

0873

昭		年 月 日	略 歴	摘 要						
20										
7	7									
10	10	9	9	8	8	8	8	7	7	<p>通称号 不拔才三七二二一部隊</p> <p>歩兵第三七一連隊略歴</p>
29	5	28	8	23	18	16	9	31	8	
<p>自至</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 奉天省本溪湖において編成完結。 歩兵才九〇連隊よりの差出し人員を基幹とし在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐、奉天付近の警備。 才一大隊は師団司令部と共に奉天に残り、その他は本溪湖に移動。 在満召集者の召集解除。 主力は奉天、一部は本溪湖においてそれぞれ武装解除。 奉天作業才五三、才三二大隊に編入。 作業才三二大隊黒河經由入「ソ」 作業才五三大隊黒河經由入「ソ」。</p> <p>隊長 大佐 前田 瑞穂</p>										

0874

		昭 20		年 月 日		略 歴		摘 要	
		9	9	8	8	8	8	7	7
		22	3	下旬	24	21	15	31	8
隊長 中佐 重松 光雄		<p>通称号 不拔才三七二二部隊</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p> <p>奉天省遼陽において編成完結。</p> <p>歩兵才一七八連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。</p> <p>才二大隊は奉天に移駐。</p> <p>遼陽、奉天の各駐とん地において武装解除。</p> <p>全員遼陽に集結、在満召集者召集解除。</p> <p>下旬 海域に移動。</p> <p>海域作業才七大隊編入</p> <p>海域出発入「ソ」</p>							

0875

至自										昭 20	年 月 日	歩兵第三七三連隊略歴 通称号 不拔第三七二二三部隊								
10	10	9	9	8	8	8	8	8	7	7										
16	5	16	9	22	22	19	11	9	31	8										
隊長 少佐 河野桂十郎												略	歴	摘要						
黒河経由入「ソ」。 奉天出發。 虎石台に集結、奉天作業第三三大隊編入。 奉天古城子に移動。 奉天において武装解除。 在滿召集者の召集解除。 奉天着。 本溪湖出發 歩兵第一七七連隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成																				

0876

		昭和		年月日		略歴	摘要
		7	7	7	7		
		31	8	9	10	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 奉天省本溪湖において編成完結。 才一〇七師団および才一一七師団よりの差出人員を基幹とし在満応召者をもつて編成。 本溪湖出発。 煙台に移駐。 煙台において現地応召者部隊解散し、各応召地毎に集団行動。 現役兵煙台において武装解除後煙台炭坑において作業に従事。	隊長 大尉 井手古寿
		15	20	8	8		

第一三六師団推進大隊略歴

通称号 不拔才三七二一八部隊

0877

		昭和20年		年月日		略歴	
		7	7	8	8	9	10
		8	31	9	22	6	16
		8	5	16	5	10	16
		<p>通称号 不拔才三七二一九部隊</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 奉天省海城において編成完結。 在満砲兵部隊からの差出人員を基幹とし在満応召者をもつて編成。 主力は奉天に、才四中隊は遼陽に移動。 奉天および遼陽において武装解除。 奉天北陵に収容され、作業才三二大隊編入。 奉天出発。 黒河經由入「ソ」 才四中隊は歩兵才三七二連隊と同行動。</p>					
		<p>隊長 少佐 正木 儀市</p>					
		摘要					

0878

至自		昭 20	年 月 日	工兵第一三六連隊略歴		
		7			7	通称号 不拔才三七二三四部隊 略歴
	9 8 8 8 8	7			7	
	5 15 13 10 9	31	8			
隊長 少佐 佐々木 行 則 奉天に移動。 東陵に移動。 渾河に移動。 古城子に移動、部隊解散。		軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 奉天省本溪湖において編成完結。 才六三師団工兵隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。		摘要		

0879

昭和20年		略		略		略		略	
年	月	日	略	略	略	略	略	略	略
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
<p>通称号 不拔才三七二二五部隊</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p> <p>奉天省本溪湖において編成完結。</p> <p>電信才四六連隊および才一二六師団通信隊よりの差出人員を基幹とし在満応召者をもつて編成。</p> <p>奉天に移動。</p> <p>奉天（朝日女学校）において武装解除。</p> <p>古城子移動。</p> <p>奉天（鉄路学院）に集結。</p> <p>奉天作業才三二大隊編入。</p> <p>奉天出発。</p> <p>黒河經由入「ソ」</p> <p>隊長 大尉 柿 沼 秀 三</p>									
摘要									

0880

							昭	年 月 日	輜重兵第一三六連隊略歴 通称号 不拔才三七二六部隊
							20		
10	9	9	8	8	8	7	7		
5	16	8	21	18	10	31	8	略 歴	
隊長 少佐 原田春芳 奉天（鐵路学院）集結、奉天作業才三二大隊編入。 奉天出發。 黒河經由入「ソ」。 奉天に移動。 奉天に部隊集結、武装解除。 古城子に移動。 奉天省海域において編成完結。 輜重兵才一〇七連隊および才一〇八連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。							略	歴	
								摘要	

0881

								昭 20	年 月 日	第一三六師団兵器勤務隊略歴 通称号 不拔才三七二二七部隊
								7		
10	9	9	8	8	8	7	7			
	5	16	10	21	18	9	31	8	略 歴	
隊長 大尉 萩原 金蔵 奉天出発。 黒河經由入「ソ」。 奉天作業才三二大隊編入。 奉天（鉄路学院）集結。 古城子に移動。 奉天において武装解除。 奉天に移駐。 奉天省本溪湖において編成完結。 軍令陸甲才一〇六号により編成下令。										
										摘 要

0882

昭和20年		第一三六師団病馬廠略歴 通称号 不拔才三七二三〇部隊
年月日	略歴	
7 7 8		
7 7 8	奉天省海域において編成完結。	
8 8 11	奉天に移駐。	
8 8 18	奉天において武装解除。	
8 8 21	古城子に移動。	
9 9 10	奉天（铁路学院）に集結。	
9 9 16	奉天作業才三二大隊に編入。	
9 9 16	奉天出発。	
10 5	黒河經由入「ソ」。	
廠長 中尉 秋葉 博		摘要

0883

昭和									
20									
年月日									
10	9	9	8	8	8	8	8	7	7
2	13	10	30	20	19	15	9	31	8
<p>通称号 奮闘才三七五〇二部隊</p> <p>略 歴</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 在満部隊からの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天北陵に移駐。 停戦。 奉天北陵地区において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に収容。 奉天作業才一三大隊（長 少佐 杉山 正久）に編入。 北陵出発。 黒河經由入「ソ」。</p> <p>旅团长 少将 桑田 貞三</p>									
摘要									

0884

昭和20年											独立歩兵第七七五大隊略歴	
年月日												通称号 奮闘才三七五〇三部隊
10	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7		
1	中旬	5	31	22	20	15	10	9	31	8	歴	摘要
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 歩兵才二四〇連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐。 二台子付近の陣地構築。 停戦。 奉天北陵において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 奉天作業才一四大隊（長 大尉 茂木 文彌）に編入。 奉天出發。 黒河経由入「ソ」。</p>											<p>隊長 大尉 高野 正太郎</p>	

0885

昭 20										年	月	日	独立歩兵第七七六大隊略歴			
10	9	9	8	8	8	8	8	7	7							
2	13	7	31	20	20	15	9	31	8	通称号 奮闘才三七五〇四部隊						
隊長 大尉 鈴木 浅雄 奉天出発。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 奉天作業才一三大隊（長 杉山 少佐）に編入。 黒河經由入「ソ」。 軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 歩兵才二四一連隊を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐。 停戦。										略			歴			
										摘要						

0886

独立歩兵第七七七大隊略歴										
通称号 奮闘才三七五〇五部隊										
昭	略歴									
20	年									
7	月									
8	日									
7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	7
8	8	10	9	9	8	8	8	8	8	2
31	31	31	31	20	20	20	15	14	8	31
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 歩兵才二四二連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐。 北陵において戦車壕構築。 停戦。 奉天（大平国民学校）において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 奉天作業才一三大隊および才一六大隊編入。 奉天市皇姑屯駅出発。 黒河經由入「ソ」。</p>										
隊長 大尉 大竹直一										摘要

0887

								昭 20	年
								7	月
								7	日
10	9	9	8	8	8	8	7	7	
2	13	7	31	20	19	14	31	8	
<p>通称号 奮闘才三七五〇六部隊</p> <p>独立歩兵第七七八大隊略歴</p>									
<p>隊長 大尉 中川 健次郎</p>									
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 才一〇八師団歩兵隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編隊。 奉天に移駐。 奉天において武装解除。 道義屯に移駐。 北陵東北大学集結。 奉天作業才一三大隊に編入。 奉天皇姑屯出発。 黒河経由入「ソ」</p>									
								略	歴
								摘	要

0888

至自		昭 20	年 月 日	略 歴	摘 要							
10	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	<p>独立混成第一三〇旅団挺進大隊略歴</p> <p>通称号 奮闘才三七五〇七部隊</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 才一〇七師団歩兵隊等よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移動。 停戦。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学集結。 主力は奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。 奉天出発。 黒河經由入「ソ」</p> <p>隊長 中尉 土屋源一</p>	
3	30	13	5	31	20	19	15	9	31	8		

0889

		昭和20年		年月日		略歴		摘要		
		10	9	9	8	8	8	8	7	7
		1	12	5	29	19	15	9	31	8
<p>隊長 大尉 茂木文彌</p>		<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 野砲兵才一〇七連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 奉天に移駐、奉天北方地区の陣地構築。 停戦。 奉天において武装解除。道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 奉天作業才一四大隊編入（長 大尉 茂木文彌） 奉天皇姑屯出発。 黒河經由入「ソ」</p>								

独立混成第一三〇旅団砲兵隊略歴

通称号 奮闘才三七五〇八部隊

0890

至自		昭 20		年 月 日		略 歴	摘 要
		7	7	7	7		
		8	8	8	8	独立工兵才一二連隊、才四二野戦道路隊よりの差出人員を基幹として在満応 召者をもつて編成。	
		8	8	8	8	奉天に移駐、同地付近の警備。 停戦。	
		8	8	8	8	奉天において武装解除。	
		8	8	8	8	道義屯に移動。	
		9	8	9	8	北陵東北大学に集結。	
		10	8	10	8	主力奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。	
		13	9	13	9	奉天出発	
		30	9	30	9	黒河經由入「ソ」。	
		3	10	3	10		
隊長 中尉 新妻胤義							

独立混成第一三〇旅団工兵隊略歴
通称号 奮闘才三七五〇九部隊

0891

昭和20年										年月日	独立混成第一三〇旅団通信隊略歴 通称号 奮闘才三七五一〇部隊	
略歴												
要												
昭	20	7	7	8	8	8	8	8	8	7	7	<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 撫順において編成完結。 在滿防空部隊よりの差出人員を基幹として在滿応召者をもつて編成。 奉天に移駐。 停戦。 奉天において武装解除。 道義屯に移動。 北陵東北大学に集結。 奉天作業才一四大隊編入（長 大尉 茂木文彌） 奉天皇姑屯出発。 黒河經由入「ソ」</p>
10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	
1	12	5	31	22	20	15	9	31	8			
<p>隊長 中尉 南部 義 弘</p>												

0892

至自		昭	年	月	日	略	歴	摘要
		20						
10	9	7						
3	30	7						
	12	8						
	5	8						
	31	8						
	20	8						
	19	8						
	15	8						
	9	7						
	31	7						
	8	7						

通称号 奮闘才三七五一部隊

独立混成第一三〇旅団輜重隊略歴

軍令陸甲才一〇六号により編成下令
撫順において編成完結。
独立輜重兵才六四大隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。
奉天に移駐。
停戦。
奉天において武装解除。
道義屯に移動。
東北大学集結。
奉天作業才一五大隊（長 大尉 昆野英雄）に編入。
奉天出発。
黒河經由入「ソ」。

隊長 大尉 昆野英雄

0893

至自		昭		年	月	日	略	歴	摘	要
9	9	8	8	8	8	8	7	7		
20	15	28	27	25	19	15	9	30	8	
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 錦州省錦県において編成完結。 才一〇八師団司令部からの差出人員を基幹とし在満応召者をもつて編成。 通化省臨江に移動し陣地構築作業。 臨江において停戦。 現地召集者を解除、(現地召集解除者は集団で奉天、撫順、大連、錦泉等それぞれ の応召地へ向かい大部は中共地区より帰還一部は市民狩りにより入「ソ」 している。 主力は臨江出発。 通化において武装解除。 吉林省吉林に移動、吉林作業才二〇二、才二一〇、才二一一、將校各大隊に編入。 黒河および琿春經由入「ソ」。</p>										

独立混成第一三四旅団司令部略歴

通称号 奮励才三七五五二部隊

0894

至自		昭	
		20	年
9 9	8 8	8 8	7 7
20 9	28 27	22 19	15 12
10	30	8	日
独立歩兵第七九一大隊略歴			
通称号 奮励才三七五三部隊			
略歴			
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 錦州省錦県において編成完結。 歩兵才二四〇連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。 錦県出発。 通化省臨江着。 臨江において停戦。 現地応召者の大部分召集解除。 臨江出発。 通化において武装解除。 吉林省吉林に移動し吉林作業才二〇二、才二〇三、才二〇五、才二一一、各 将校大隊に編入。 黒河および琿春經由入「ソ」</p>			
隊長 大尉 田村 輝 展			
摘要			

0896

至自		昭	年 月 日	略 歴	独立歩兵第七九一大隊略歴 通称号 奮励才三七五四部隊
		20			
9 9 8 8 8 8 8 8	7 7	7 7			
20 9 27 24 19 15	13 9	30 8	日		
<p>隊長 大尉 水沼 浅男</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>吉林に移動、吉林作業才二〇一、才二〇二、才二一〇將校各大隊に編入。</p> <p>通化において武装解除。</p> <p>石人溝において現地応召者召集解除。</p> <p>臨江において停戦。</p> <p>陣地構築作業。</p> <p>通化省臨江県石人溝に移動。</p> <p>錦泉出発。</p> <p>歩兵才二四二連隊よりの差出人員を基幹として在満応召者をもつて編成。</p> <p>錦州省錦泉において編成完結。</p> <p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p>					
			摘要		

0897